



報告事項 議事要録

報告事項 1

協議会議長

澤 辰水

一般社団法人日本ライオンズ執行理事会・理事会・社員総会 報告

- 【一社日L】 第7回理事会議事録 (2024/01/19 開催) 未着
- 【一社日L】 第8回理事会議事録 (2024/02/26 開催) 未着
- 【一社日L】 第9回理事会 (2024/03/19 開催) 未着
- 【一社日L】 第3回社員総会 (2024/03/19 開催) 未着

議事録未着の為、報告概要について口頭説明があった

3/19 理事会での主な議題

- ・2024~2025 年度 (メキシコ大会) 国際理事推薦候補者について
- ・札幌 OSEAL フォーラム支援金について

報告事項 2

一般社団法人日本ライオンズ副理事長

池原 堅

2024~2025 年度 (メキシコ大会) 国際理事推薦候補者について

【第1回国際理事候補者資格審査委員会 (2023/08/09 開催) 議事録より抜粋】

MD334 L 仁科 良三の推薦書を確認の結果、資格審査が承認され、日本ライオンズ推薦候補者に決定した。

- 【一社日L】 第1回国際理事候補者資格審査委員会議事録 (2023/8/9 開催) P6~7
- 複合地区と地区年次大会 大会誌への掲載依頼状 P8
- 複合地区と地区年次大会 大会誌への掲載依頼状 (補足) P9
- L 仁科 良三 所信 P10
- L 仁科 良三 経歴 P11

公益財団法人日本ライオンズ設立について

<趣旨説明>

【10/11一般社団法人日本ライオンズ第4回理事会議事録より抜粋】

一般財団法人日本ライオンズ不老理事長より説明、去る2021年10月にサンディエゴで開催された国際理事会において、一般財団法人日本ライオンズが正式に承認されている件の報告、内閣府公益財団法人の認定手続きを開始した旨説明と、フットサル・寺子屋事業の説明をされた。公益化には定期的な収入が必要である事 (会員負担) 皆さんの理解を得ていきたい旨の説明をされた。

注：11/1付で内閣府より認定され、公益財団法人日本ライオンズとなった。

第62回OSEALフォーラム (札幌) 支援協力について

- ① 協力金：会員一人当たり 2,000円
- ② いつ現在の在籍会員数か？ ⇒ **2024年7月1日現在の在籍正会員を対象とする**
子会員 (二人目以降の家族会員)、学生会員、支部会員
を除く
- ③ いつまでにとりまとめて送金するか？
⇒ 理事会で配布された文書中では 2024 年 6 月までにとりまとめとなっておりますが、札幌フォーラム委員会へ確認したところ、最終的に **2024 年 12 月まで**にとりまとめて頂きたいとの要望がございます。

一般社団法人日本ライオンズからの支援協力依頼状 P12

資料に基づいて説明があった

- ・「支部会員を除く」となっている部分について
⇒ 「支部会員」は本来正会員である。

報告事項 3

複合地区年次大会委員長

勝本 竜一

第 70 回複合地区年次大会下関ホスト事務局会計残高証明書について

1/25 第 3 回ガバナー協議会にて複合地区上半期（2023 年 7 月～2023 年 12 月）会計監査報告を実施、その際、岡村元議長（社団監事）より、大会ホスト事務局口座（西京銀行）について、残高証明書を添付するようにとの話があった。

残高証明書…………… P13

残高証明を確認した。

報告事項 4

LCIF コーディネーター

高岡 英治

LCIF 進捗状況について

2024 年 2 月 21 日(水) 午後 2 時 45 分～午後 4 時 15 分

MD336/MD337 第 3 回 LCIF 開発会議 (ZOOM)

議 題

1. 進捗状況
2. 2 月の LCIF 活動を振り返って
3. 能登半島地震支援の取り組みアップデート
4. 年次大会準備、5 月 21 日 FVDG/DGE 研修、LCIF 日本写真コンテストへのご協力のお願い、2021 年～2022 年 LCIF 年次報告書のクラブ送付などのお知らせ

能登半島地震支援指定寄付（2/19 現在速報値）…………… P14
 地区年次大会等の行事における LCIF 表彰の準備について…………… P15
 第 3 回 LCIF 開発会議出席者名簿…………… P16
 FY23-24 前期 LCIF 表彰案内…………… P17
 LCIF 表彰早わかり表…………… P 当日資料 A3
 LCIF 日本写真コンテスト募集要項…………… P18～19
 LCIF 寄付一覧表 2 月分（2/19 現在速報値）…………… P20
 LCIF 寄付一覧表 2 月分（~~2/24~~⇒3/18 現在速報値）…………… 当日資料

各資料に基づいて報告があった。

- ・能登半島地震支援指定寄付 2/19 現在速報値額 1,087,420 ドル 3/26 現在 1,654,192 ドル 支援金はまだ増え続けているがまだ必要である。更に 1 人あたり 1000 円、もしくは 2000 円の支援が必要ではないかとの案がリーダーズ会議の中であった。現時点では会員 1 人あたり 2000 円の支援がプール出来ている。334-A 地区ガバナーから申請を受けての拠出となる。LCIF からの支援金の為には必ず必要物資を明記、支給後には用途について詳細な報告義務が伴う。
- ・ブースについての設置申請は 3/28 現在 D 地区のみ、複合地区、地区年次大会では全会場で募金箱を設定する。
- ・個人寄付、クラブ寄付で出来るだけ多くの方を年次大会で表彰していただきたい。
- ・地区、クラブシェアリングを OSEAL 調整事務局へ申請しているが、事業活動を行った際の写真を応募いただきたい。
- ・2/19 時点で MD336 は 8MD で寄付額トップであり、4 地区皆様の努力の賜物である。
- ・当日資料：3/18 時点で MD336 は 111.9%、8MD 中 2 位、336-B 地区も 100%到達予定。
- ・当日資料：クラブ参加率 強制は出来ないが 0 クラブをなくしていただきたい。

報告事項 5

GMA 世話人

真鍋 隆

国際本部集計クラブ数・会員数（2 月末現在）…………… P21

資料に基づいて説明があった。

- ・会員数増減 135 人（1.06%）
- ・クラブ活動がほぼ通常に戻り奉仕活動も盛んになったかと感じる。ガバナー to ガバナー、地区コーディネーターを中心として、GAT：グローバルアクションチームの努力、

GMA：グローバルメンバーシップアプローチを使った勧誘やクラブ活動の努力の成果が現れてきたのではないかと感じる。ミッション 1.5 とも重なりあってうまく進んでいるのではないと思う。

- ・支部づくり、会員満足度アンケート調査が浸透して、会員の希望する例会のあり方や奉仕活動内容を改革し、入会や退会防止に繋がっているクラブも見受けられた。会員の種別や多様性も浸透してきていると感じる。
- ・3月末、6月末の退会数が懸念されるが、会員一人ひとりが居心地よく活動出来るクラブづくりが維持出来ると退会防止に繋がるのではないかと考える。
- ・残りの数か月もガバナーチームを中心に会員増強と維持に取り組んでいただきたい。

報告事項 6

GMT・GMA コーディネーター

池原 堅

336 複合地区健康診断レポート(2月末現在)..... P22
資料に基づいて説明があった。

- ・ MyLCI から抽出した内容であるので若干サバンナとの整合性がない

複合地区最終確認および次年度の引継ぎ会議開催について

次年度引継ぎ会開催のお願い (2/29 GATJapan からの配信メールより) P23

- ・ 議長と相談をして5月中に開催予定、後日連絡をする

ミッション 1.5 ピン配布について

ミッション 1.5 ピン配布についての案内..... P24

- ・ 贈呈者については追って連絡をする

報告事項 7

SCP・FWT コーディネーター

鵜飼 恵美

2 月度会員増強報告 P25

資料に基づいて報告があった。

- ・ 集計であるが、MyLCI へ報告入力するクラブ、サバンナから入力報告するクラブ、それぞれある為、乖離する部分が出てくる。今後各クラブ事務局では MyLCI へ報告をあげていただくことを願います。月末の遅い時間帯での入力であると、翌月まわしになり、齟齬が生じる為、気を付けていただきたい。
- ・ D 地区で学生会員が 5 名入会したことにより、A～D 地区全地区に学生会員が誕生したことになる。
- ・ 追加資料 P14～15 についての説明：ガバナーズアワードの為にコーディネーターが毎年 2 月に締める資料となる。現在結成されている支部についての情報が明記されているのでガバナーにご確認いただきたい。
- ・ 本日 (3/28) 時点で今期 7 支部結成、44 名の新規会員数、トータル 56 支部、440 名が在籍している。

報告事項 8

会則および付則運営マニュアル編集委員会委員長

松岡 諒

複合地区・地区年次大会への議案上程と承認決議依頼箇所について

※ライオンズ必携新旧会則対照表を基に説明

- 【第 1 号議案 (MD336 大会提出議案 日本ライオンズ上程議案部分 協議事項 P6)】
ライオンズ必携 61 版改定 複合地区会則 協議事項 P10～24
- 【第 2 号議案 (MD336 大会提出議案 日本ライオンズ上程議案部分 協議事項 P6)】
ライオンズ必携 61 版改定 国際理事候補者資格審査委員会規則 協議事項 P25～26
- 【一社日 L】第 6 回委員会議事録 (2024/01/22 開催) P26～32
- 【MD336】第 4 回委員会議事録 (2024/01/23 開催) P33
- 【一社日 L】第 7 回委員会議事録 (2024/02/22 開催) P34～39

資料に基づいて報告があった。

大会提出議案関連

- ・国際理事候補者資格審査委員会規則改正については、従前、「国際理事候補者推薦規則」から、名称変更に伴っての改正である。
- ・複合地区会則改正については、ミッション 1.5 が始まり、地区ガバナー以下役員皆様の任務が国際理事会方針書上で大きく変更された。それに併せての改正となる。
- ・(新) 複合地区会則 15 条で「会員増加に繋がるよう国際協会の目的を推進する」との内容で、「会員増強」が最重要任務として変更された。
- ・(新) 複合地区会則 16 条 3 項で、キャビネット会議において、各準地区コーディネーターは投票権が与えられていなかったが、改正後は投票権が与えられる。したがって、次期キャビネット構成の際には気を付けていただきたい。
- ・(新) 複合地区会則 29 条禁忌事項部分で、「やってはいけないこと」を規則に盛り込んだ。
- ・ライオンズ必携には既に変更された内容が記載されているが、複合地区年次大会で承認されてからの改正となる。
- ・追加資料 P3 複合地区会則訂正箇所（第 3 条・14 条・17 条）についての説明。17 条について、MD336 内各準地区で「キャビネット副幹事」「キャビネット副会計」を配置している。それについての根拠規定が改正の際に削除されていたため、指摘の上、記載を復活させていただいた。次期も必携には「キャビネット副幹事」「キャビネット副会計」は記載されないが、任命は可能である。
- ・日本ライオンズより改正について通達があった際に、準地区大会でも「複合地区会則」と「国際理事候補者資格審査委員会規則」の改正の決議が必要かのような表現でキャビネット事務局へ送られてきたが、複合地区大会のみで改正、決議すればよいものである。

日本 L 会則委員会関連 ※詳細は議事録参照

- ・複合地区、準地区にてコンプライアンス委員会を設置してほしいとの議論があった。
- ・複合地区会則の変更箇所が多くややこしい為、日本 L 会則委員長が次期三役研修会用 VTR を作成するとのこと、後日届く予定。

MD336 会則委員会関連

- ・運営マニュアル第 21 版（2023-2024 年度発行）の納期が間もなく（4 月上旬）である。
- ・コンプライアンス委員会設置の打診について MD336 会則委員会内で検討、既存の会則委員会の中で役割を担ってはどうかとの話がなされた。次期ガバナー協議会で協議していただきたい。6 月の第 5 回ガバナー協議会で上程させていただく。
- ・MD336 各内規、大規模災害が発生した際に複合地区から資金を拠出することが出来る「緊急援助資金規定」であるが、緊急援助資金委員会の構成員は議長とガバナーとなっている。ガバナー自身が被災し議論が行えない際には資金拠出が出来ないので、議長に裁量を持たせてはどうかとの意見があった、次回第 6 回ガバナー協議会で上程させていただく。
- ・複合地区委員会運営内規について、文言を明確に変更することを次回第 6 回ガバナー協議会で上程させていただく。

池原社団副理事長より社団からの上程議案、第 4 号議案 賛助会費について

- ・8 複合地区ある中で、賛助会費を保留している複合地区がある。統一を図る意味で議案にあげた。2016 年に一般社団法人日本ライオンズが設立される以前は、ライオン誌の会費と社団会費は別扱いであったが、設立と同時に統一され「賛助会費は 80 円」というかたちで計上されていくべきであったが、その説明がなされていない地区があったため今回諸問題が発生した。再度確認の為に「賛助会費は 80 円」（ライオン誌 50 円+社団運営費 30 円）として理解をしていただきたく上程議案とされた。

報告事項 9

アラート委員会委員長

西尾 慎一

「全国アラートフォーラム in 岡山」について

開催日 : 2024 年 2 月 3 日 (土)

出席者数: フォーラム 496 名 懇親会 299 名

【一社日 L】 第 3 回委員会議事録 (2023/11/13 開催) P40~48

【一社日 L】 第 4 回委員会第 1 回能登地震支援対策本部会議議事録 (2024/01/22 開催) P49~52

【一社日 L】 第 2 回緊急委員会議事録 (2024/02/15 開催) 未着

【一社日 L】 第 5 回委員会議事録 (2024/03/11 開催) 未着

資料に基づいて説明があった

アラートフォーラムに関して

- ・フォーラムについては当初の目的通り開催出来たと感じる。能登半島地震発災間もない時期であり、開催自体が危ぶまれもしたが、アラートへの関心がより高まるきっかけになったタイミングとなったのではないかと考える。
- ・基調講演とパネルディスカッションを通じて、発災時にライオンズクラブが地域といかに連携をして行動するか多角的な視点で問題提起をさせていただいた。交流会含め大変有意義な会となったのではないと思う。
- ・日本ライオンズアラート委員会に関しては議事録をお目通しいただきたい。

報告事項 10

青少年・ライオンズクエスト・薬物乱用防止委員会委員長

春木 扶佐子

ライオンズクエスト普及活動及び今後の活動予定について

ライオンズクエスト活動予定と LCIF 交付金の進捗状況

- ① 336-A 地区
ライオンズクエスト交付金報告書を提出 対象期間：2021年7月～2023年8月
LCIF 交付金の金額：US\$ 11,700 (1,592,343 円)
ライオンズクエスト交付金申請書提出
申請日：2024年1月31日 申請金額：US\$ 11,300
事業実施計画：ワークショップ4回・セミナー2回
ワークショップ 高知市・土佐市・鳴門市・高松市 (対象：学校関係者)
セミナー 学校関係者・ライオンズメンバー 対象
- ② 336-B 地区 進展がない状態なので引き続き委員会から助言をしていく
- ③ 336-C 地区
福山市内私立3校でワークショップ開催予定 7月25日・26日
広島市の小・中学校でワークショップ開催予定
三原市など、コロナ渦でワークショップが止まっている教育委員会へ再開の働きかけを行っている
- ④ 336-D 地区 坂根委員長より報告
メンバー対象の1日ワークショップ 6月15日山口市、16日大田市で開催が決定。
LCIF 交付金申請に向けて、山崎もとみ D 地区ガバナーの指導の下、対象の学校のリストアップを行い、島根県は修了、山口県もリジョンごとに2校のリストアップ準備中

委員会開催

- ・第2回委員会を2月21(水) web で開催 議事録参照
準地区4人の委員長からライオンズクエストの普及活動と LCIF 交付金の進捗状況を報告いただいた。
青少年育成支援フォーラム (JIYD)馬淵事務局長によるライオンズクエストについて講演をいただいた。
どのように普及活動をするのか？また複合単位での WS 開催数はコロナ渦前の8割まで戻っているが MD336 は8複合の中でも低い位置にいたので B 地区 D 地区には頑張っていたきたい。
LCIF ライオンズクエスト交付金について説明があった。貴重な資料なので共有いただきたい。
資料参照

今後の予定は

- ・336-A 地区 3月31日(日) 香川県高松市で高松東 LC が中心となってメンバー対象の1日ワークショップ開催予定。このクラブは夏にも初めて教育関係者のワークショップを開催予定で冬には校内型のワークショップ実施を目指して子どもたちに「プログラムを届けるといふ」目的を持って普及活動を始めている。複合の委員会でも協力して準備等のお手伝いをしている。
- ・薬物乱用防止活動とライオンズクエスト普及活動を連携して活動を提案したい。
- ・第3回委員会を5月に開催予定

【MD336】第2回委員会議事録(2024/02/21開催) P53～56
JIYD 馬淵事務局長講演資料 P57～66

上記報告があった

報告事項 11

YCE・国際関係・レオ・平和ポスター委員会委員長

蔵本 守雄

- 【一社日L】第4回委員会議事録（2024/01/16開催）…………… P67～71
 【MD336】第4回委員会議事録（2024/02/24開催）…………… P72

2024-2025年度ポスターコンテストについて

※**2024年11月20日（水）迄に複合事務局宛で各地区より1点をお送りください。**

12月上旬に複合地区にて最終審査会を実施し、1点を国際協会へ提出いたします。

なお、最優秀賞として国際協会へ提出された作品につきましては返却されません。

オセアル調整事務局からの案内（2/9配信）…………… P73

概要…………… P74～76

委員長ガイド…………… P77～81

2025～2026年度にMD336YCE事業を再開したい。

2024～2025年度は、まず、再開にあたって予算を含めた基盤作りが必要

3/17に社団YCE委員会吉村委員長と台湾（高雄）へ出向き、台湾YCE委員長と面会を行った。事業再開の折には、台湾から20名程を日本で受け入れたいと希望する。

報告事項 12

環境保全・保健福祉・献血・献眼・視聴覚委員会委員長

田中 秀幸

【A地区井出委員長からの報告】

今期反省等

- ① 委員長として国際大会で情報を取得すべくセミナーをたくさん受けてきました。その中で環境保全に関するもので「マイクロプラスチックの害」と題して30人ほどが座れる小さなセミナーが行われていました。そこで講演されていたのが「Dr. Nancy Messmer」でこの方がアメリカでこの件を訴えて、その後国連に働きかけて現在の世界的な運動になったということです。そばにいた元ガバナーの方が説明してくれて名刺もいただきました。このDr. Nancy Messmerはライオンズメンバーです。つまりこの運動はライオンズが広めたという事です。
- ② 期の初めの地区役員・委員研修の際に環境セミナー的な話をさせて頂いて、子や孫の世代が生き残る環境を残すのは我々に課された義務だと訴えました。その手始めに「紙の使用量削減」を今期方針に掲げ、無駄を省くという意識を植え付けるよう努力しました。
- ③ 「不要眼鏡のリサイクル」を方針に掲げ、不要眼鏡のリサイクル、リユースがSDGsにも合致しており推進しました。年次大会でその収集した不要眼鏡を回収する箱を用意して、そこへ入れて頂く予定です。目に見える成果を確認し、地区の奉仕の成功を称えたいと思います。これはよく国際大会で行われている事です。
- ④ 年次大会の際にアクティビティーとして大会会場近くの公園清掃を行います。年次大会に参加するだけでなくアクティビティーに参加することも目的として頂いて、参加意識の向上を目指します。
- ⑤ 8月初めの広島での日赤の血液センター研修は素晴らしい研修でした。大変勉強になりました。
- ⑥ 第三回委員会はZoomで行いました。
- ⑦ 献血セミナーは2R、香川県、高知県で行われた大会に参加させて頂きました。
- ⑧ 若年層（20～30代）献血者の減少や、骨髄移植ドナーが少ない原因はどちらも「重要性の理解が不足している」と考え、教育の為の簡単なスライドを作成し、各クラブが取り組んでいる薬物乱用防止教室スライドに入れてもらうよう配布する予定です。
- ⑨ 複合の役員連絡会議の内容は大変分かりにくいものでした。日本の衰退の原因である社会の効率が悪く一端はこの会議の非効率にあると思います。内容を簡単な図解等でプレゼンをして頂ければ分かる問題だと思いますので、パワーポイント、Zoomを多用し、効率化を図って、良いアイデアを持ち寄ってより良いものを目指していく必要があると思います。以上

【D地区高島委員長からの報告】

前回のガバナー協議会以降、表に出るような活動はありません。

今後は次期委員長、副委員長への申し送りと各県の移植医療財団や血液センターとの次年度に向けた連絡調整が主な活動となる見込みです。

研修会については財団との早めの調整が必要となりますので、できるだけ早く申し送りをしたいと考えています。

またこの2年を振り返って課題として見えてきたことがあります。

一つは献眼登録者とその家族が角膜提供の意思を継続的に共有しておくことです。そのためには各県の財団とも話し合う必要があるのではないかと考えています。

二つ目は会員でも積極的に献血される方がおられますので、クラブ活動以外でも献血者数のカウントにつながるような方策を立てたいと感じました。

以上のことは次期委員長、副委員長への申し送り事項にしたいと考えておりますが、次期役員の意向が最優先となりますので活動の助言としてもらえばよいと考えています。

- ライオンズクラブ献血推進の基本方針（2023-2024）…………… P82
- 献血推進・協力実績 令和5年度（上期 2023/07-12）…………… P83
- 献血推進・協力実績 令和5年度（下期 2024/01-02）…………… P84

資料と上記報告に基づいて説明があった

献血に関して

実績数をしっかり把握して意識をもって取り組むことを次期へ引き継ぎたい。

献眼に関して

ライオンズ関係者からの献眼者数が少ないとの報告を受けている。
ご家族とも献眼登録について継続的にお話の場をもっていただきたい。

報告事項 13

長期計画委員会委員長

酒井 公一

- ① 一連のパンフレット類の作成完了及び配布について
- ② 長期計画委員会の今後の活動方針報告について

- ・パンフレットを1年半がかりで作成、ガバナー協議会にて承認後、各キャビネットへ付帯資料も併せて送付したので、早急にクラブへ転送いただき、会員増強につなげていただきたい。
- ・4月5日に複合地区レベルでの委員会を開催

報告事項 14

ライオン誌日本語版委員会委員

上田 隆政

- 【一社日L】第7回委員会議事録（2024/02/07 開催）…………… P85～87
- 【一社日L】第8回委員会議事録（2024/03/04 開催）…………… P88～89

- ・ライオン誌冬号の「獅子吼」投稿掲載について関係者に不快感を抱かせる点があり、委員会として謝罪させていただきます。
また、委員会としてその内容を支持するものではございません。理事会方針書第16条ライオン誌にあるように、「会員の意見は、それが必ずしも協会の立場を表すものでないことを明記することを条件に、手紙又は記事の形で載せることができる」とあることから獅子吼は会員が自由に発言できる場とすべきとの判断から掲載するに至りました。
今後は「理事会方針書」、並びに「掲載ガイドライン」に沿って慎重に掲載可否を判断することとなりました。
第7・8回の委員会報告書を添付しておりますので、ご確認よろしく願いいたします。

報告事項 15

国際大会委員長（日本ライオンズ国際大会委員会 MD336 担当委員）

徳永 修

メルボルン国際大会 2024年6月21日（金）～25日（火）

MD336 登録状況 3/21 時点

登録パターン	人数
現地参加登録（近ツーオフィシャルツアー申込）	10

現地参加登録(近ツー準オフィシャルツアー申込)※変則日程	21
現地参加登録(自己手配)(近ツーへ登録代行申込) ※要別途@2,200 登録代行手数料	35
現地参加登録(完全自己手配)	0
現地参加なし 登録のみ(近ツーへ登録代行申込) ※要別途@2,200 登録代行手数料	5
現地参加なし 登録のみ(完全自己手配)	0
計:	71

【一社日L】第5回委員会議事録(2024/01/18開催) P90~92

- ・オフィシャルコースでの参加者が少ない
- ・日本では6~8ホテル、560ルームを確保している
- ・パレード参加については、日本で統一して行う
- ・ジャパンレセプションは立食形式で簡易的に実施したい
- ・4/24第7回大会委員会は東京で対面形式にて行う

その他報告事項

【年次大会について再度のご依頼】

※総会と式典リハーサル

6月1日(土) 14:00~15:30 海峡メッセ下関 1F「展示見本市会場」

※議事運営委員会

6月1日(土) 16:30~17:30 海峡メッセ下関 8F「804会議室」

大会の打合せ会となるので複合地区役員の皆様にはぜひご出席いただくようお願いしたいとの話が松岡運営委員長からあった。案内と出欠確認については4月上旬に行う。

議事録署名人：336 複合地区ガバナー協議会 議長 澤 辰水
承認年月日：2024年4月5日

澤 辰水